

琉球大学学術リポジトリ

南資研創立20周年記念事業並びにシンポジウムの開催について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017600

平成 14 年 4 月 15 日

南方資源利用技術研究会

会 員 各 位

南方資源利用技術研究会

会 長 照 屋 輝 一

南方資源利用技術研究会創立 20 周年記念事業並びに記念シンポジウム” ウエルネスアイランド沖縄の創生へ向けて” の御案内

謹啓

沖縄にとっては若夏の季節となりましたが、会員の皆様には御健勝に御活躍ののことに拝察申し上げます。

さて、以前よりお知らせ致しておりました南資研創立 20 周年記念事業並びに記念シンポジウムの概要が別紙の様に固まり、下記の要領でその中核でありますシンポジウムを開催する運びとなりました。会員多数の方々の御来駕を賜りますよう御案内申し上げますとともに、御広報頂ければ幸甚に存じます。

敬白

記

1. 日時：平成 14 年 5 月 24 日（金）午前 10 時より
2. 場所：沖縄産業支援センター 1 F 会議室
（住所 那覇市小禄 1831 番地－1 ）
3. プログラム：以下の資料を御参照下さい

南方資源利用技術研究会創立20周年記念事業

シンポジウムタイトル名(案)：ウエルネスアイランド沖縄の創生へ向けて
-南方資源の視点から-

<事業項目>

シンポジウム／記念誌発行／祝賀会等、以下の事業を計画しております

(1) <シンポジウム>

- 1) 基調講演
- 2) 特別講演
- 3) 研究講演
- 4) 事例発表(産業界)

(2) <記念誌>

第一部 研究資料

- 基調講演・研究講演・事例発表(要旨)
- 平成元年から13年度までの琉球大学、工業技術センター、TTCなどの報告書からの関連研究抄録(タイトル、著者名、発行者、キーワード等)
- 最近の産学官連携研究の動向

第二部 南方資源利用技術研究会の歩み

- 歴代会長(國府田佳弘／当山清善／森川 豊)…思い出
- 年次目録
- 研究会誌／研究発表／研究会誌等
- 活動記録、○会則、○会員名簿

(3) <功労者表彰、祝賀会>

対象者及び表彰方法

歴代会長のうち國府田佳弘、当山清善、森川 豊 氏 3名

祝賀会式場

シンポジウム開催当日、産業支援センター内会場

(4) <南資研既発行資料の合冊製本>

南資研が創設以来発行した研究会誌、シンポジウム資料等を整理・合本

企 画 書

開催目的

南方資源利用技術研究会は、「熱帯・亜熱帯地域における資源を有効に利用する技術の発達を図る」ことを目的に昭和 56 (1981) 年 12 月に設立され、この間 20 年に亘って、熱帯・亜熱帯の生物資源をはじめとする南方資源の利用に関わる産学官の研究技術者の研鑽の場、交流の場として重要な役割を果たまいりました。

今日、本会は一般会員、名誉会員、特別会員で構成され、平成 14 年 4 月現在、各々 139 名、3 名、20 社までに発展いたしました。また、沖縄県以外の参加者も多く、会員は多種分野の領域の方から成り立っている特徴があります。

21 世紀を迎え、時代の要請は地球環境の保全、人類の福祉・健康、資源の再生・循環、クリーンエネルギーへの転換等へと、まさに南方資源利用技術研究会の目指してきた方向に大きくシフトしてきております。

ここで、福祉・健康について考えてみますと、日本においては、少子・高齢化社会の進展に伴い、国民の健康志向が急速に高まる中、“癒し・保養”といった健康観光や健康・美容関連の食品産業が隆盛を極める社会背景のもとに、国民のより積極的な新しい健康観に基づく健康づくり活動の必要性が論議され、健康をテーマにした地域作りが全国的に展開されています。

沖縄県でもこのような社会の変遷に呼応すべく、福祉・健康分野については地域特性を活かしての産業振興の中軸として健康関連産業に大きな期待を寄せ、種々の施策展開を開始しております。県が 1997 年に発表した「沖縄県産業創造アクションプログラム」の基本構想は“ウエルネスアイランド沖縄の創造”であり、地域内外の人々へ健康で快適なライフスタイルを提供すると述べており、その戦略として健康産業の育成・振興、観光関連産業の高度化、新産業の創設などの展開軸が盛り込まれるなど、まさにこれまで沖縄が得意としてきた分野を再認識・再評価する時代が到来しようとしています。とりわけ観光産業においては、長寿日本 1 位の特性を活かし“健康と癒し”をテーマにした施策が展開されています。また、「沖縄経済振興 21 世紀プラン」の中でも、沖縄の持つ豊かな自然、地域の営み、食品・食生活等の観光資源を活用した“参加型・滞在観光型”の推進が取り上げられるなど新たな産業形態として大きく期待されています。

本シンポジウムはそのような背景の中で、南方資源利用技術研究会創立 20 周年記念事業の一環として、本研究会の活動の中軸となってきた“熱帯・亜熱帯生物資源の高度利用”の観点から、広く沖縄の健康関連産業の発展への寄与を探り、「ウエルネスアイランド沖縄の創生」に資することを目的に行うものであります。

『ウェルネスアイランド沖縄の創生に向けて～南方資源の視点から～』
(南方資源利用技術研究会創立20周年記念シンポジウム)

○日 時
2002年5月24日(金) 10:00～17:20

○会 場
沖縄産業支援センター(那覇市小禄1831番地-1)

○主 催
南方資源利用技術研究会

○共 催
(財)沖縄県産業振興公社・(社)沖縄県工業連合会
(社)沖縄県経営者協会・(財)南西地域産業活性化センター

○後 援
琉球大学地域共同研究センター・沖縄県工業技術センター
(株)トロピカルテクノセンター・沖縄県健康食品事業協同組合

シンポジウムプログラム

<開会挨拶>	10:00～10:30
主催者挨拶	南方資源利用技術研究会会長 照屋 輝一
共催者挨拶	(財)沖縄県産業振興公社理事長 牧野 浩隆
	(社)沖縄県工業連合会副会長 上間 恒義

<基調講演>	10:30～12:00
「OKINAWA型健康産業の展望ー産業クラスター計画についてー」	
古谷 毅 内閣府沖縄総合事務局経済産業部長	
「沖縄地域のウェルネス資源の可能性について」	
安仁屋洋子 琉球大学地域共同研究センター長	

<研究講演> ～南方資源利用と健康産業の展望～

13:00 ～ 14:30

「薬草資源について」

市場 俊雄 沖縄県工業技術センター主任研究員

「海洋生物資源について」

上江田捷博 琉球大学理学部助教授

「ハーブ資源について」

川崎 聖司 琉球大学農学部助教授

「健康食品について」

田村 博三 (株)トロピカルテクノセンター

<事例発表>

14:30 ～ 15:30

稲福桂一郎 (株)沖縄発酵化学研究開発部係長

瀬底 正康 琉球セメント(株)事業開発部食品開発室室長

稲福 直 (株)琉球バイオリソース研究開発室長

<休憩>

15:30 ～ 15:45

<特別講演>

15:45 ～ 17:15

1. 「おいしさの科学 ―癒し・感性・健康― 」

山野 善正 前・香川大学農学部部長

<閉会挨拶>

17:15 ～ 17:20

―演題・講演時間は若干変更する場合がありますのでご了承下さい―

*閉会后、同会場にて”祝賀会・功労者表彰”を予定(会場再設営のため一旦休憩)しております。

会場案内：産業支援センター(那覇市小禄1831番地-1)

